

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態						
日本史 (Japanese History)	必	道明 熙	2年生 知能機械工学科	2	通年 週 2時間						
授業概要	幕末から現代に至るまでのいわゆる日本近代・現代史を系統的に学習する。										
到達目標	1：日本近現代史の基本的流れについて、政治・経済・社会の三側面から理解を深める。 2：近代日本における科学技術の受容について理解する。 3：21世紀の世界の中での日本の在り方を考える。										
評価方法	年4回の定期試験70%、授業中の課題（提出物など）30%で評価する										
教科書等	日本史A（三省堂） プリント等										
内 容					学習・教育目標						
第 1 週	18世紀後半から19世紀にかけての世界と日本				A						
第 2 週	黒船の来航と日本の開国				A						
第 3 週	尊王攘夷から倒幕へ				A						
第 4 週	統一国家の形成と富国強兵				A						
第 5 週	四民平等と文明開化、明治初期の外交				A						
第 6 週	「文明と向き合う」―福沢諭吉と中江兆民				A						
第 7 週	自由民権運動の展開				A						
第 8 週	自由民権運動の群像				A						
第 9 週	大日本帝国憲法の制定				A						
第10週	条約改正と朝鮮問題、日清戦争と三国干渉				A						
第11週	日清戦争後の社会 ― 立憲政友会の成立、日英同盟				A						
第12週	日露戦争と朝鮮の植民地化				A						
第13週	「非戦と平等を求めて」―幸徳秋水と堺利彦				A						
第14週	日本の産業革命と社会運動の発生				A						
第15週	「森と水と共に生きる」―田中正造と南方熊楠				A						
第16週	大逆事件と大石誠之助				A						
第17週	第一次大戦と日本の中国進出				A						
第18週	大戦と日本の資本主義 米騒動とシベリア出兵				A						
第19週	社会運動の発展				A						
第20週	大正デモクラシー				A						
第21週	戦後恐慌から金融恐慌へ				A						
第22週	世界恐慌と日本				A						
第23週	満州事変から日中全面戦争へ				A						
第24週	上海から南京へ				A						
第25週	アジア太平洋戦争へ				A						
第26週	大東亜共栄圏の実態 戦後補償について				A						
第27週	戦場からの手紙 戦争体験を語る				A						
第28週	戦時下の国民生活				A						
第29週	ポツダム宣言の受諾と日本の敗戦				A						
第30週	日本国憲法の成立とその後の日本				A						
(特記事項)		JABEEとの関連									
		JABEE	a	b	c	d-1	d-2	e	f	G	h
		本校の学習	A	A	C	C	C	B	D	B	C
		・教育目標	◎								

ガイダンス：日本史

[1] 第1週～第9週

- ① 19世紀後半のアジア諸国は、欧米諸国の植民地化の危機に瀕していた。日本もその例外ではなく、黒船の来航がそのことをあらわしていた。幕藩体制の解体から近代国家形成への変革の過程を学習する。
- ② 遅れて資本主義国の仲間入りしようとする近代日本。富国強兵をめざして国家形成を進めた諸政策を学習する。
- ③ やがて天皇主権の明治憲法が制定される。その過程を、国民の側からわき起こった自由民権運動の展開をもふまえて学習する。

[2] 第10週～第16週

- ① 19世紀末から20世紀初めの世界は、いわゆる「弱肉強食」の帝国主義の時代。欧米諸国の圧力をうけつつ、東アジアのなかでは、日本と清国と朝鮮はそれぞれの道を歩むこととなる。その重要な分岐点の一つが日清戦争であり、日露戦争である。これらの戦争に至る過程やその後を学習する。
- ② 日本の資本主義について、紡績業や製糸業の発展、さらに重工業部門にもふれつつ産業革命を学ぶ。
- ③ 産業革命当時の日本の労働者のおかれていた状態や社会運動について学習する。

[3] 第17週～第20週

- ① 第一次世界大戦と日本の参戦。その間の日本の中国への進出について具体的に学習する。
- ② 大戦後の資本主義諸国の勢力圏の調整や抑圧された国々、とりわけ日本と関係深い朝鮮・中国の動向を学習する。
- ③ 世界大戦を経て、日本の資本主義のさらなる発展を学ぶ。
- ④ 資本主義の発展とともに都市化はさらに進み、サラリーマン等の都市中間層や民衆が政治を動かす一つの勢力として登場する。それらを背景とした日本の民主主義、いわゆる大正デモクラシーについて学ぶ。

[4] 21週～30週

- ① 第一次大戦中にバブル的に急成長した日本資本主義は、その後慢性的な不況から銀行の取り付け騒ぎ、さらには世界恐慌にまきこまれる。当時の産業界や人々の暮らしはどうなったかを学習する。
- ② 不況の中で、その打開の道を、満州からさらに中国への侵略戦争へと広げていったことを学習する。
- ③ 日中戦争の長期化のなかで、日本はさらに東南アジアへも侵略を広げ、そのことがアメリカ等ともさらに戦争を拡大することとなったことを、第二次世界大戦という世界的視点のなかで学習する。
- ④ 15年にわたる戦争のなかでの、国民や兵士、さらに侵略された人々の生活について学習する。
- ⑤ 敗戦後日本は占領され、民主的な諸改革がおこなわれる。そしてその後の日本の歩んだ道を概観する。